

平成23年度完成  
国営越後丘陵公園事務所発注の  
優良工事等表彰について

優良工事等の表彰は、北陸地方整備局所管の工事等に関し、その施工及び成果が特に優秀であって、他の模範となるものを選定し、表彰することにより、良質な社会資本整備を目指すとともに、建設技術の向上と事業の推進に資することを目的としています。

今年度は、平成23年度に完成した工事及び業務委託の中から、事務所長表彰の優良工事等を別紙のとおり選定し、下記のとおり表彰式を実施しますのでお知らせ致します。

記

1. 日 時：平成24年7月20日（金）10：00より
2. 場 所：国営越後丘陵公園事務所 会議室  
(長岡市宮本東方町字三ツ又1950番1、1階)

問い合わせ先 国土交通省 北陸地方整備局 国営越後丘陵公園事務所  
調査・品質確保課長 高橋 博之 電話 0258-47-1488

事務所ホームページ <http://www.hrr.mlit.go.jp/echigo/>

公園ホームページ <http://echigo-park.jp/>

平成23年度完成 国営越後丘陵公園事務所発注工事の優良工事等表彰受賞者

※敬称略

(1) 事務所長表彰

●優良工事

【工事名：H23健康ゾーン他修景工事】

グリーン産業株式会社

●優良委託業務

【業務名：平成23年度国営越後丘陵公園事業再評価検討他業務】

エヌシーイー株式会社

※なお、優良建設技術者（工事）及び優良建設技術者（業務委託）については、  
該当無しであった。



平成23年度完成 優良工事【事務所長表彰】

番号

1

受注者	グリーン産業株式会社	事務所名	国営越後丘陵公園事務所
	代表取締役 荒川 義克	工期	平成23年3月11日から 平成24年3月23日まで
	新潟市中央区神道寺2-2-10	請負金額	104,265千円
工事名	H23健康ゾーン他修景工事	工事場所	新潟県長岡市宮本東方町地先
工事内容	植栽（事業用地管理工・伐採工） 基盤整備（千畳敷広場整備工、木製遊具周辺地盤改修工、ユリ園改修工、バラ試作圃場整備工、チューリップ花壇整備工、越の池施設整備工、園路広場整備工、臨時駐車場整備工、植栽工）		
選定理由	本工事は、当国営公園の健康ゾーンを中心とした大規模な植栽工を始め、公園全体に点在する施工箇所において、多種・多様な公園整備を内容とする入園者ニーズに応えるための工事であった。 分割施工による早期部分開放等を積極的に行い、46万人余りの年間入園者への安全確保の徹底と入園者目線からの景観に配慮して、開園前・閉園後時間帯の作業や、フラワーポット・修景仮設物を広範囲に使用するなどして対処し、苦情等もなく無事故で完成させた。400haの公園全体に点在する多種多様な目的物の構築に対し、入園者ニーズを良く理解しながら、卓越した造園技術をもって隣接工事や既設構造物との調整にも適切に対処した。1年間に及ぶ工期全体を通して、種々の施工上の工夫や地域貢献を行い、工程・品質・出来形管理に努力し、出来映えも良好であったため推薦するものである。		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			

受注者	エヌシーイー株式会社	事務所名	国営越後丘陵公園事務所
	代表取締役 小島 廣保	業務名	平成23年度国営越後丘陵公園事業再評価検討他業務
	新潟県新潟市中央区網川原1丁目4番11号	工期	平成23年4月28日から 平成24年3月30日まで
		請負金額	14,364千円
選定理由	<p>本業務は、国営越後丘陵公園整備事業の効率性を評価するための事業再評価に際し、最新データによる費用便益を計測し事業再評価委員会の資料作成を行ったものであり、また併せて、次年度以降の公園整備計画の見直し業務を実施したものである。</p> <p>費用便益算定では、諸条件の設定等において「大規模公園費用対効果分析手法マニュアル(以下、マニュアル)」に準拠し算定を行ったが、マニュアルで明確にされていない残事業の費用便益については、既存事例並びに各地整への意見照会等を行いながら、算出方針・根拠を明確にし的確にその計測にあたった。</p> <p>また、公園施設の維持保全の課題を踏まえ、園内建築物の長寿命・延命化とライフサイクルコストの縮減を目指した大規模修繕計画を策定し、事業再評価における費用便益算定に反映させることで評価結果の精度の確保に努めた。</p> <p>更にマニュアルでは評価対象外となっている「非利用者価値」についてWEBアンケートによる仮想的市場評価法(CVM)を用いて便益の定量化を試みた。</p> <p>事業再評価資料の作成においては、当公園の立地条件や固有の特性や機能を踏まえた課題抽出を行い、より多様で幅広い評価の切り口により事業の必要性や評価結果の妥当性を明確化した。また資料作成にあたっては、発注者並びに整備局との綿密な協議・調整を重ね、情報の共有を図りながら迅速に業務を遂行した。</p> <p>公園整備計画の見直し検討では、関係者による合同現地調査やワーキングの開催補助等を行い、今後整備予定の文化ゾーンについて、現在の社会情勢や利用者ニーズ等を踏まえた再整備案を提案するなど、多岐に渡る業務内容に対し高度な技術を発揮し、優秀な成果をとりまとめた。</p>		